

年頭所感

中澤 靖夫

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長



平成29年の新春を迎え、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

平素は本会の事業の推進につきまして、ご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。本年も昨年同様にご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

初春を迎え、会員の皆さま方におかれましては、どのような夢と希望と目標を抱かれたことでしょうか。昨年は、第32回日本診療放射線技師学術大会、8地域における放射線医療技術学術大会、第10回JART・JSRT合同学術セミナー、第24回参議院選挙、第77回定時総会などの折に触れ、本会の事業方針を伝えご理解を頂いてきたところです。

昨年、伊勢志摩で開催されたG7では、政治外交政策としてテロ・暴力過激主義、難民問題、中東問題、北朝鮮問題、ウクライナ・ロシア問題、海洋安全保障（東シナ海・南シナ海）、軍縮・不拡散問題（広島宣言の支持）、国連安保理改革が議論され、世界経済の強靱性の強化のため、各国の状況を配慮しつつ、強固で持続可能な均衡ある政策を推進することがコミットされた。気候変動・エネルギー・環境については、パリ協定の2016年中の発効目標の取り組み、クリーンエネルギー効率の高い製品・設備などへの投資にコミット、富山物質循環フレームワークを支持することが確認され、2030アジェンダの実施を、人間中心の、かつ地球に配慮したかたちで、国内のおよび国際的に進めることがコミットされた。

2030アジェンダは国連が決議した人間、地球および繁栄のための行動計画です。「すべての国及びすべてのステークホルダーは協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う（外務省HPより引用）。私たちがこのようなグローバルな視点を持つとともに、身近なところから、確かなところから、世界平和のために貢献すべきではないでしょうか。科学技術の進歩は人類に計り知れない貢献をもたらしています。

私たちが医療に使用している엑스線は、ヴェルツブルク大学物理学研究所長であったWilhelm Conrad Röntgenによって1895年11月8日に発見され、その功績により、Röntgen教授は1901年に第1回ノーベル賞（物理学）を受賞しています。2016年のノーベル生理学・医学賞は東京工業大学栄誉教授の大隅良典氏（71歳）が受賞しました。研究内容「細胞の環境適応システム、オートファジー（細胞内におけるリサイクリング機能）の分子機構と生理学的意義の解明」で高く評価されました。大隅氏は受賞会見で『役に立つ』という言葉が、とても社会をダメにしていると思う。本当に役立つのは、10年後か20年後か、あるいは100年後かもしれない。社会が将来を見据えて科学を一つの文化として認めてくれるようにならないかと強く願っている」とコメントされました（楽天NEWS）。この言葉から、大隅氏の長年のご苦勞が結晶化された哲学を感じることができます。私たちが科学技術者として大隅氏から学び、今まで以上に社会のために貢献していく必要があると思います。

第45代アメリカ大統領選挙が行われ、ドナルド・トランプ氏が当選しました。選挙活動中は過激な発言で世界を驚かせましたが、大統領就任後は世界平和のために尽力してほしいと願っています。国連に参加する全ての国の指導者は、地球が抱えているさまざまな問題に対して「地球は一つ」「人類は一つ」という視点から、人種差別をなくし、平和五原則である領土・主権の相互尊重、相互不可侵、相互内政不干渉、平等互惠、平和共存の下、各国がそれぞれの役割を担う中で世界平和の醸成に努めていただきたいと願うものです。

RSNA 2016がChicagoで開催され、人工知能を用いた未来の診断・治療システムの在り方が提示されました。私たちが近未来において、Big Data分析を用いることを念頭に置いた放射線業務の組み立てを再構築する必要があります。第186回通常国会で診療放射線技師法の一部が改正され、新たな業務拡大に伴い全ての診療放射線技師の方々に、本会が主催する統一講習会を受講するよう勧めしております。厚生労働省からは、診療放射線技師が新たな業務を行うに当たっては、法令により研修の受講が義務付けられているものではないが、その養成課程において新たな業務に係る教育を受けていない診療放射線技師については、医療安全の確保の観点から、新たな業務を行うに先立って、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受ける必要があることとされ、修了者には医政局長・本会会長名連名の下、修了証を発行し、修了証番号を管理しています。まだ受講されていない方々は、ぜひ早めの受講をお勧めします。

本会は、真のチーム医療を推進するために、患者安全を第一優先とし、医療安全の視点からさまざまな生涯教育に取り組んでいます。そして「国民と共にチーム医療を推進しよう」をスローガンに、医療者と協働し、質の高い医療技術を提供する診療放射線技師を継続的に支援し、社会的責任を遂行する所存です。皆さま方のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。